

総合型入試〔講義体験型〕について

Q 総合型入試〔講義体験型〕について教えてください。

【人文学部日本文化学科】

A 日本文化学科で学ぶことができる四つの領域のうち、二つの領域の講義を体験し、それに基づいてレポートを作成します。口頭試問では、日本の文化・文学・言語、異文化間交流に関する関心を持っている受験生の皆さんに、講義内容を踏まえ、何を本学で深く学びたいのかを具体的にお尋ねし、本学科で学べる四領域の学習内容との関連についてお尋ねします。

【外国語学部アジア学科】

A 総合型入試〔講義体験型〕は体験授業に参加後、課題レポートによって体験授業の修了を認められた方を対象に、口頭試問、書類審査により総合的に評価する入試です。体験授業を受講して学科について良く知ってから出願できるのが特色です。口頭試問と書類審査（志望理由書、自己推薦書等）を通じて、専門領域に関する知識や、表現力、論理的思考力、判断力に加えて、主体的に外国について学ぶ姿勢や、異文化を受け入れ多様な人々と協働する能力、ならびに学科のカリキュラムとの適性を総合的に判断して評価します。

【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】

A 本入試は、高校までの成績だけでは測れない意欲・関心・主体性・思考力・表現力を多面的に評価し、本学科で主体的に学べる学生を受け入れることを目的としています。二段階（第1次審査：書類審査、第2次審査：試験）で実施します。

第1次審査では、それぞれの学科で学ぶために必要な基礎学力、自分の考えをまとめ表現する力、それぞれの学科の学問分野を学ぼうとする意欲を総合的に確認します。

第2次審査では、小論文と口頭試問を行います。小論文では、数学を含む基礎知識と、考えを文章でわかりやすく表現できるかを評価します。口頭試問では、それぞれの学科の学問分野への関心、新しい技術に挑戦する姿勢、他者との対話を通じて学び成長しようとする姿勢なども丁寧に確認します。

口頭試問に先立つ講義体験では、それぞれの学科の学問分野の基礎を高校生にも理解しやすく紹介します。講義を踏まえて「本学科で何を学びたいか」をうかがいます。高度に専門的な事前知識は不要であり、興味や意欲を持つ方の挑戦を歓迎します。

出願資格について（『入学試験要項 総合型入試』「出願資格」）

Q 外国人でも受験できますか。

A 出願資格を満たしていれば、受験することは可能です。

Q 社会人でも受験できますか。

A 受験に関して年齢の上限はありません。出願資格を満たしていれば、どなたでも受験することは可能です。

Q 南山大学の他学部・他学科の総合型入試と併願できますか。

A 本学総合型入試において出願できるのは1学科のみです。複数学科、複数の総合型入試の型への併願はできません。大学および学部・学科のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、出願する1学科を選択してください。

Q 南山大学の他の入学試験において、他学部・他学科との併願はできますか。

A 可能です。また、他の入学試験を再度受験することも可能です。

Q 他大学との併願はできますか。

A 可能です。

Q 出願する条件として、【調査書】の学習成績の状況の基準はないのでしょうか。

A 調査書の学習成績の状況については、出願基準としては設けていません。調査書と各審査の結果に基づき、総合的に可否を判定します。

.....
出願書類の準備について（『入学試験要項 総合型入試【講義体験型】』『出願書類』）

Q 志望理由書にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

【人文学部日本文化学科】

A なぜ本学科で学びたいのか、そのきっかけや背景は何か、南山での学びにこれまで身につけてきたことをどう生かしていきたいのか、を具体的に書いてください。

【外国語学部アジア学科】

A これまでの外国との関わり、異文化について関心のあることから、大学在学中に研究したいテーマ、外国についての理解を生かした将来の進路希望などを交えつつ、アジア学科を志望した理由を述べてください。

【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】

A 本学部の学科を志望する理由を記述してください。また、本学部での学びに関連して関心のある科学技術についても記述してください。例えば、スマートフォンなどのソフトウェア、クラウドサービス、人工知能や機械学習、5Gなどの通信ネットワーク、情報セキュリティ、IoT、ロボット、自動運転などが挙げられるでしょう。

Q 自己推薦書にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

【人文学部日本文化学科】

A 大学受験までの期間に、熱心に取り組んだ活動、どのような活動をしてきたのか、を教えてください。そして、そこから得られたこと、それが南山での学びにどうつながっていくのか、大学生活の中でどう生かしていきたいのか、卒業後のキャリアにどう結び付けようと考えているのか、教えてください。

【外国語学部アジア学科】

- A これまでに異文化との関わりにおいて成し遂げたことや外国語の学習を通して得た貴重な経験などを紹介しつつ、自分自身を力強くアピールしてください。

【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】

- A あなたがこれまで行った顕著な活動について、そこから得られたことも含め、科学技術・数学・物理学を活用した探究・調査活動やものづくりの活動などに関連づけて記載してください。例えば、数学オリンピック、ハッカソン、ロボットコンテスト参加、文化祭で情報技術を活用した出し物、部活動などでデータを活用した練習計画の策定などが挙げられるでしょう。

Q 資格の証明書など、自己の能力を示す資料を提出することはできますか。

- A 自己推薦書に関係する資料がある場合は、その写し（A4サイズ）を第1次審査の出願時に併せて提出してください。

Q 途中まで日本の高校に通い、その後外国の高校に転入し卒業した場合、どのような書類を提出すればよいでしょうか。

- A 複数の高校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記載された成績証明書を各高校から発行を受けて提出してください。成績証明書の提出が不可能な場合は、これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。

Q 外国の高校を卒業した場合、提出する書類で気をつけることはありますか。

- A 書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を作成し、翻訳の内容が原本と相違ないことを出身高校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けた後、提出してください。なお、出願書類は、すべて原本（オリジナル）の提出が原則です。原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明（原本証明）を出身高校等から受けた後、提出してください。

Q 高校の推薦書の提出は必要ですか。

- A 提出の必要はありません。

.....
出願書類の提出について（『入学試験要項 総合型入試』「出願手続方法」）

Q 出願はインターネットで行うのですか。

【人文学部日本文化学科】 【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】

- A 第1次審査の出願はインターネットを使用するWeb出願です。要項をよく確認の上、出願登録および入学検定料の支払い手続をし、出願期間内に書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や、書類に不備がある場合は、出願が無効となります。第2次審査の出願については、入学検定料は銀行窓口での支払いになります。第1次審査合格発表時に合格者のみにお知らせする案内も参照してください。

【外国語学部アジア学科】

- A この試験はインターネットを使用する Web 出願です。要項をよく確認の上、出願登録および入学検定料の支払い手続きをし、出願期間内に書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や、書類に不備がある場合は、出願が無効となります。

.....

審査内容について（『入学試験要項 総合型入試 [講義体験型]』「審査」/「審査・課題講義受講および第1次審査合格発表」）

Q どのような口頭試問が行われますか。

【人文学部日本文化学科】

- A 口頭試問では、日本の文化・文学・言語、異文化間交流に関する関心を持っている受験生の皆さんに、講義内容を踏まえ、何を本学で深く学びたいのかを具体的にお尋ねし、本学科で学べる四領域の学習内容との関連について、講義担当者を含めた複数名の教員がお尋ねします。

【外国語学部アジア学科】

- A 複数の受験者が同席し、面接官の質問に対して受験者が自主的に挙手・発言しあうというグループ面接の形式です。他の受験者の発言内容に対する意見を求めることもあります。主な質問項目は、志望動機、アジア学科に対する理解度、体験授業の内容に対する理解度、などに関するものです。

【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】

- A 基礎知識と考えを口頭でわかりやすく表現できること、それぞれの学科の学問分野への関心、新しい技術に挑戦する姿勢、他者との対話を通じて学び成長しようとする姿勢などを丁寧に確認します。
- 口頭試問に先立つ講義体験では、それぞれの学科の学問分野の基礎を高校生にも理解しやすく紹介します。講義を踏まえて「本学科で何を学びたいか」をうかがいます。

Q 【人文学部日本文化学科】 【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】
第1次審査で合格した後、第2次審査の出願を取りやめることはできますか。

- A 可能です。第2次審査の出願期間に手続きを行わなかった場合、出願を取りやめたものとみなします。

.....

その他の質問

Q 昨年度（2026年度）の入試結果を教えてください。

- A 入試結果は以下のとおりです。

【人文学部日本文化学科】

	志願者数	合格者数
第1次審査	37	16
第2次審査	14	8

【外国語学部アジア学科】

志願者数	合格者数
22	13

【理工学部電子情報工学科】 【理工学部機械システム工学科】

A 2027年度から実施する入試ですので、過去の入試結果はありません。

Q 総合型入試〔講義体験型〕で不合格になった場合でも、南山大学の学校推薦型選抜や一般選抜を受けられますか。

A 不合格になった場合でも、本学の学校推薦型選抜や一般選抜（他学部・他学科を含む）を受けることができます。その際、この試験を受験したことは有利にも不利にも働きません。

Q 入学手続の延期はできますか。

A 入学手続の延期はできません。所定の期間に手続を行わない場合、入学の意思がないものとみなします。

Q 総合型入試〔講義体験型〕に合格し入学手続をした後、南山大学の他の学科に合格した場合、学科を変更することができますか。

A 学科を変更することは可能です。新たに合格した学科の入学手続時に、所定の手続きを行ってください。

Q 【外国語学部アジア学科のみ】専攻はいつ決まりますか。

A 2年次に決定します。

Q 合格してから入学までに行う課題はありますか。

A 入学手続を完了した方は、大学入学後の活動に備えて、本学が準備する課題に取り組んでください。課題は、別途、合格者にご案内します。